

令和 8 年度 第 1 回小委員会のテーマ及び論点

(5 月 22 日開催)

【テーマ I】**個人所得課税の在り方****< 論点 >**

個人所得課税について、デジタル空間における経済活動の多様化・複雑化が一層進展している中、今後どうあるべきか

< 検討項目 >

SNS などデジタル空間を活用した収益手段が増加する中、これまでの報告も踏まえ、納税者にとって分かりやすく公平な税制及び申告制度の在り方とはどのようなものか

- 時代に即した所得の捕捉方法の検討
 - － 第三者からの報告義務、所得区分 等
- 個人事業税の課税方式の見直し
 - － 課税対象事業の限定列挙 等

【テーマⅡ】

地方法人課税の在り方

< 論点 >

令和8年度与党税制改正大綱において、地方法人課税に係る追加措置の検討が示された。真の地方自治の確立に向け、地方法人課税はどうあるべきか

< 検討項目 >

- 法人事業税所得割・収入割に係る特別法人事業税・譲与税の割合を高める措置について
 - － 応益原則、地方分権との整合性、これまでのいわゆる「偏在是正措置」に対する評価 等

- 新たに法人事業税資本割を特別法人事業税・譲与税の対象とする措置について
 - － 応益原則、外形標準課税の意義・経緯 等